

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】平成17年8月11日(2005.8.11)

【公開番号】特開2003-226967(P2003-226967A)

【公開日】平成15年8月15日(2003.8.15)

【出願番号】特願2002-28112(P2002-28112)

【国際特許分類第7版】

C 23C 14/34

【F I】

C 23C 14/34

C

【手続補正書】

【提出日】平成17年1月21日(2005.1.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

〔効果〕

以上のような本実施形態によれば、ターゲット10の反りが生じないので、バッキングプレート22との間に隙間が生じることがなく、ターゲット10の熱はバッキングプレート22に十分に伝わる。従って、ターゲット10は確実に冷却され、溶融破損は発生しない。また、溶融破損に至る場合に生じる放電電圧の上昇もなく、プロセスの安定化を実現できる。さらに、複数の滑り部材27を、ターゲット10の周縁に対応させて等間隔で配設しているので、ターゲット10に対して、中心位置を考慮することなく固定することができるとともに、ターゲット10の周縁をバッキングプレート22に対して均一に押え付けることができる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図6】

